

次世代がん治療推進専門家養成プラン

下記により講義を行いますので、学生、教職員の方、多数ご来聴下さい。聴講は自由です。

記

P a l l i a t i v e M e d i c i n e : O u t l i n e

「緩和医療学概論」

- 6月17日（月）（三宅） 緩和医療学概論
6月18日（火）（鈴木） 在宅緩和ケア
6月19日（水）（秋山） ① 当院における緩和ケアの歩み
② ACP－患者さんのこれからについて相談する－
6月20日（木）（小池） 緩和ケアにおけるコミュニケーション
6月21日（金）（松下） 緩和ケアにおけるQOLの評価

1 時限:18:30-19:50 2 時限:19:50-21:10

質疑応答 21:10-21:30

M&D タワー11F 大学院講義室 3

概 要:

緩和医療について、その理念、目的、意義、および実態について概観する。また、ホスピスや緩和ケア病棟での緩和ケア、在宅での緩和ケアについて、実際の臨床現場に即して解説する。さらに、緩和医療の際の最も基本である、全人的な痛みを評価するためのQOL尺度の説明や応用、および患者やその家族とのコミュニケーションについて、事例をまじえて講義を行う。

科目担当責任教員:

- 三宅 智 本学大学院医歯学総合研究科 臨床腫瘍学分野 教授
松島英介 本学大学院医歯学総合研究科 心療・緩和医療学分野 教授

科目担当教員:(講義順)

- 鈴木荘一 鈴木内科医院 院長
秋山 修 日本赤十字社医療センター緩和ケア科 部長
小池眞規子 目白大学人間学部心理カウンセリング学科 教授
松下年子 横浜市立大学医学研究科・医学部看護学科 教授